

「芳賀・宇都宮東部地域公共交通網形成計画」（素案）に関するパブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見の募集期間 平成 27 年 10 月 9 日 ～ 10 月 30 日 まで
- (2) 意見の応募者数 2 名 (男性 2 人, 女性 0 人)
意見数 5 件
- (3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	電話	計
人数	1		1			2

2 意見の処理状況

区分	処 理 区 分	数
A	意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの	
B	意見の趣旨等は、計画案に盛り込み済みと考えるもの	
C	計画の参考とするもの	1
D	計画に盛り込まないもの	
E	その他、要望・意見等	4
	計	5

意見番号	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方
1	LRTの整備の工程に4年間で予定されているが、長いように感じる。どの工程にどれだけ時間を割いて4年になるのかをわかりやすく説明したうえで、開業前倒しの可否についても検討すべきではないか。	C	LRTの整備については、平成28年度以降、地下埋設物等の移設、道路工事、軌道工事などに順次、着手する予定であり、現時点におきましては、4年程度の整備期間を見込んでおりますが、今後、詳細設計等を進めていく中で精査するとともに、適宜、市民の皆様に分かりやすく説明してまいります。 また、ご意見の趣旨等については、LRTの早期開業に向けた検討の参考とさせていただきます。
2	宇都宮市と芳賀町が連携しLRTを導入すること、さらにJR宇都宮駅以東の区間を先行導入する計画については大いに賛同し、早期の導入を期待する。	E	LRTについては、高い輸送力や定時性などを備え、人や環境にやさしく、産業の振興や沿線地域の活性化など、将来のまちづくりに多くの効果が期待できることから、東西基幹公共交通として早期導入に取り組んでまいります。

意見番号	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方
3	清原工業団地内での設置予定停留所の数が少ないように感じる。速達性も大切だが、団地内での停留所数を増やさなければ、車利用者を公共交通へ誘導する本来の目的を失ってしまうのではないか。	E	<p>LRTの停留場については、国の指針等に基づき、沿線の土地利用状況を勘案しながら、利便性と速達性確保の両方の側面を考慮し、JR宇都宮駅から4号国道までの商業・業務系の区域については500メートル程度、テクノポリスセンター地区などの住居系の区域については500～700メートル程度、市街化調整区域や工業系の区域については集落の分布状況や企業等の立地等を踏まえて配置しているところであり、清原工業団地内の停留場については「清原管理センター前」と「清原工業団地北」の2ヶ所を予定しております。</p> <p>また、「清原管理センター前」など、主要な停留場には、自動車やバス、自転車などの他の交通手段との乗り継ぎを円滑にするトランジットセンター（乗り継ぎ施設）を整備するなど、工業団地内の利用者の利便性向上を図ってまいります。</p>
4	独自のICカードの採用より、既存のカード事業に加入するなど、既に市民に普及しているものを採用すべきではないか。独自のICカードを導入する場合でも、既存のICカードとの相互利用を可能としなければ利用者にとっては不便である。	E	<p>ICカードについては、LRTやバス、鉄道など公共交通間の連携や乗り継ぎ割引、高齢者外出支援などの地域独自サービスの提供、乗降時間の短縮による定時性・速達性の向上の観点から、地域独自のICカードを導入するとともに、全国相互利用カードで地域の公共交通の利用が可能となる「片利用」機能の導入を目指してまいります。</p>
5	LRT導入の本来の目的（宇都宮市西部の利便性向上と活性化、工業団地通勤事情の緩和、市中心部の活性化）を費用を抑制した別の手段（地域内交通や通勤バスへの補助金、LRTと同じルートでのバスの運用とマイクロバスの接続、宇都宮駅東西間の直通バスの増便）で解決できると考えるため、LRTの導入に反対である。	E	<p>地域が有する交通課題の解消や、都市の様々な活動を支える社会基盤の整備については、地域の特性に応じた公共交通が機能的・効率的に連携する階層性のある公共交通ネットワークの再構築に取り組んでいるところであります。</p> <p>LRTについては、高い輸送力や定時性などを備え、人や環境にやさしく、産業の振興や沿線地域の活性化など、将来のまちづくりに多くの効果が期待できることから、公共交通ネットワークの東西基幹公共交通として導入してまいります。</p>